



森ボラ 通信

第42号 2005年11月20日発行
北海道森林ボランティア協会
札幌市中央区南2条西2丁目金市館ビル8F
Tel:241-8155 Fax:241-8308

E-mail:h-shinrin-v@indigo.plala.or.jp

URL:http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/

■トピックス

◆赤い林檎に心通わせて —リンゴ園作業記—

3月22日、昨年の作業開始より18日遅れで始まった今年の作業、それでもリンゴ園には昨年の倍位の積雪があった。

手始めに「剪定・枝切り作業」。続いて雪解けを待っての「施肥」「樹下の草取り」。桜の花見の後、リンゴの花見をしながらちよっぴり心が痛む「花摘み」。気の遠くなるような花摘みが続く。この頃になるとエゾハルゼミが鳴き始め、やがてリンゴの梢から降るような蝉しぐれ。有史以来といわれた暑い夏、作業は休むこと無く続く・・・淡々と。花の摘み忘れ、花の摘み残しで小さく実った「果実の摘果」。作業が順調に進むに連れ、昨年の台風被害、剪定から始まって数々の作業を経ての一年間手塩にかけて漸く収穫という時の、あの惨状の悪夢が頭をかすめる。



「今年こそ事故無く無事収穫を迎え、真っ赤なリンゴをこの手で握り締めよう」を参加者の合い言葉に、三角山山麓は和やかに、そしてわいわいがやがや、リンゴが色付き始めて「葉摘み」の季節。リンゴ園を取り巻く山々も色付き始めた頃、待ちに待った「収穫作業」。この光景を何度夢見たことか。

いざ収穫作業が始まると、あっという間に果実がもぎ取られて行く。果実をもぎ取られ葉を残した木々は何か寂しさが漂う。でも作業員は嬉々として二年ぶりの収穫を楽しみながら作業は進んで行く。そしてリンゴ園ボランティア今年最後の大団円となった11月8日、参加者も今年一番の16名という大人数である。

収穫する果実は高級品の「ふじ」。若干時期が早いらしいが、間もなく雪が来るというので作業の手にも拍車がかかる。



時折、ほんの時折、その手からリンゴが離れ地上にドスンと鈍い音。ニュートンの閃きがわかるような気がする。作業は進み手際よく選別され、木箱に整然と並べられ次から次へと積み上げられて行く。今までは食べることでリンゴと関わってきたが、昨年今年とリンゴをつくるお手伝いをして、リンゴ農家の大変さを知らされました。当協会のボランティア活動には種々活動の場があるが、一つの事を成し得る充実感は屈指のものであろう。額にほんのりと滲ませた汗を拭きながら、ガブリと頬張るリンゴの味はまた格別である。

この豊穡の喜びを与您ていただきましたリンゴ園主の斎藤様、憩いの場アップル山荘を提供していただきました虎谷様、そして一年間頑張ってくれたボランティア仲間に、感謝！感謝！感謝！

♪ 赤いリンゴに・・・リンゴはなんにも言わないけれど

リンゴの気持ちはよくわかる リンゴ可愛いや可愛いやリンゴ ♪

(山中記)

◆ポスターセッション 05/11/05

森づくりに関わる人々の交流の場として毎年開催される「道民森づくりネットワークの集い」が道庁赤レンガで開催されました。当会はポスターセッションに3回目の出展。ポスター作成は西野さんが担当し、野幌・藻岩・神宮での活動をアピールしました。狭い会場にぎっしり並んだポスターの中で目立つためには仕掛けが必要です。今や看板娘となっている杉本（則）さん作成の人形と、加治（豊）さん作成のフクロウの壁掛けが、我がブースの前で人の足をとめるのに一役買ってくれました。

我々ほど山仕事する団体はありませんが、実に様々な啓発の取り組みを知ることができ、今後の活動のヒントになります。関さん率いる石狩「クマゲラ」のパワーアップした活動振りも頼もしく拝見しました。

前庭では木工やチェーンソーアート、ツリーライミングなどが大変人気を集めており、来年の出展方法はポスターにこだわらず柔軟に検討すべきと感じました。（柴田記）



◆コンニャクづくり 05/10/24



午前10時、湯澤さんの指導のもとコンニャクづくりが始まる。緑色をしたカボチャのような大小2個のコンニャクイモ、計ると約2kg。ゴム手袋をはめ皮をむき、3cm角に切る。中は真っ白でヌルヌルしていて長イモのよう。ミキサー2台をフル回転させ四つの大鍋に入れ火にかけてと、お手伝いする誰もが初めてのコンニャクづくりに興味津々で、狭い車庫の中を身体をすり抜けるように作業すること2時間。丁度12時、昼食時にピッタリと出来上りました。

お味は？いつもスーパーで買うのよりも柔らかいのですがおいしかったです。湯澤先生、ありがとうございました。（杉本則記）

■今月の幹事会

- 札幌市都市公園管理者応募対応 → 3ページ
- 忘年会 → 3ページ
- 冬期セミナー 松村さんの戦時中、中国植樹の話 → 1 に予定
- 平成18年度計画の基本方針
 - (1) 森林施業 札幌市有林：有明第二：植栽部の下刈り、無立木地の植樹拡大
澄川：拡張部分の除伐（境界確認）
西野第二：ニセアカシア退治 → 2回/年実施、天然更新促進
 - 国有林：野幌：植栽、下刈り → 9番列は終了
藻岩：間伐
 - 北海道神宮：表境内林：概ね終了 → 作成ベンチ配置
裏境内林：苗畑メンテ、ニセアカシア退治 → 外周イチイ整理
背後森林：自然歩道整備、倒木整理、一部除伐
 - 積丹町：町有林：間伐 → 集材活用（木工・製塩燃料）
収益事業：農産物栽培、海塩製造、木工製品作成、販売（各地売店）
 - 私有林：当別「フクロウの森」：計画なし
 - (2) 愛林精神啓蒙 → 野幌でトライする。モーニングロータリー学童植樹等
 - (3) その他：腰ノコ補助 3,000円/年（参加10回以上）、手鎌10丁、小型チルホール3セット購入
 - (4) パソコン教室2回目 → 12月1日に設定

出席幹事等：加治（豊）、酒井、芝、柴田、杉本（茂）、西野（悌）、棟方、山中、高野

■お知らせ

パソコン教室 Part2

—Wordで作ろう年賀状 Vol.2—

【開催日時】12月1日(木) 9:00-12:00

【開催場所】札幌市産業振興センター
産業振興棟2FセミナールームD
札幌市白石区東札幌5-1-1-1
SUB 東札幌1 出口徒歩5分

- ・駐車場有(有料)、産業振興棟側は3H無料。
- ・研修内容
 1. 年賀状を完成させよう。
 2. グループ化を学習しよう。
 3. 印刷設定を学習しよう。



その他

▲作業中止のお知らせ

11月の藻岩・神宮の作業を中止します。

冬季セミナー1【テーマ】—森の空中写真—

【講師】APL(Air Photo Lab クラブ)

【開催日時】12月14日(水) 9:30 12:00

【開催場所】ちえりあ(札幌市生涯学習センター)

3階研修室1、札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10
(地下鉄東西線宮の沢駅直結)

- ・第1部「講演：航空写真とその活用について」
パワーポイントスライドを用いて講演形式で行う。
- ・第2部「実習：航空写真で森を見てみよう」
実際に立体鏡で航空写真を覗いて見る実習形式で行う。
- ・実習は3~5人のグループに分けて行う。(実習準備都合上から)
- ・使う航空写真は、協会がボランティアで森の手入れを行っている藻岩国有林。鳥になったつもりで活動地を空から見る。

忘年会&講演会

■忘年会

送迎バス出発 13時30分 地下鉄南北線北34条駅

14時~16時：講演会(森林ボランティアは何を目指す) 選抜隊が対応(調整中)

■札幌市都市公園管理公募 円山公園に応募

11月18日。参加希望者および幹事による会議を行い、以下の方針で対応することにしました。

参加希望表明者：西野(澄)、西野(悌)、前地、荻田、荒船、菊池(敏)、菊池(美)、津金

幹事：加治、酒井、杉本、山中

事務局：高野

(1) ジョイント企業(団体)と提携団体

(株)今造園、北海道神宮

(2) 提案事項の理念

- ▲ 森林ボランティアの理念の延長上で樹木愛護に力点を置く
根の保護、樹幹の腐朽部分の樹木医的な手当て
- ▲ 散策コースを神宮境内林と一体化して設定する
- ▲ 神宮境内を含めた冬期歩くスキーコース設定(冬の散歩道)
- ▲ フリーマーケットの定例化(例：第二火曜日市場)
神宮行事と連携して集客増を図る。

(3) 常勤勤務者

荒船招利、津金和洋

(4) その他

状況により、森ボランティア活動と連携する

■活動履歴

《活動日》	《活動場所》	《参加人数》	《活動内容》
11/21	北海道神宮	17	最終作業：機材撤収および収納
11/17	藻岩国有林	5	最終作業：尾根線作業道掛かり木整理終了
11/16	北海道神宮	12	山引き苗採集・移植、苗畑メンテ
11/11	藻岩国有林	16	間伐、掛かり木処理
11/9	エルプラザ	15	パソコン教室(第一回目)
11/7	藻岩国有林	7	間伐
11/1	藻岩国有林	14	間伐、掛かり木処理
10/29	藻岩国有林	5	間伐
10/24	杉本邸	16	木工
10/22	藻岩国有林		雨天中止
10/21	北海道神宮	10	製材、イチイ移植
【今月のリンゴ園】 10/21、28、29、11/4、8 参加人数 7、7、8、17、16			

■ほうこく

理事会の報告

11月1日。2005年第二回目理事会を開催。事業計画消化の中間報告/承認、および新しい取組みについての基本方針を検討/決定しました。

- 森林森林施業計画の中間報告
- 財務関係の中間報告
- 新規取組みに対する方針
 - ▲ 積丹町支援対応方針
 - ▲ 札幌市都市公園指定管理者応募についての対応方針

■ひとこま



11/3、山原さんから素敵な Photo Letter が届きました。「さわるな坊や作者 110 番より」の看板がユーモラスです。

◆◆ 昨日ポカポカ陽気に誘われて、友人と「少し遠出の散策」を楽しんで来ました。道端の近くのエサ台で2匹のリスに遭遇。素早くて何時もはカメラが追いつかないのに、5～6人の見守る中食事に夢中で、まずまずの写真が撮れました。上野幌のサイクリングロードです。 Yamahara ◆◆